



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

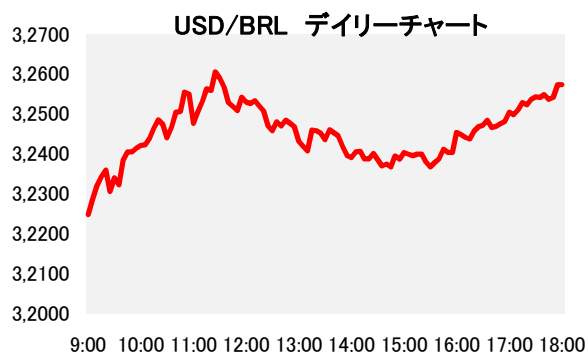
## 1. マーケット・レート

			8月26日	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2650	3.2300	3.2400	3.2260	3.2570	+0.0310
	BRL/JPY	Spot	31.17	31.55	31.78	32.05	31.69	-0.36
	EUR/USD	Spot	1.1196	1.1189	1.1143	1.1157	1.1198	+0.0041
	USD/JPY	Spot	101.83	101.92	102.99	103.43	103.21	-0.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.838	13.852	13.829	13.856	13.763	-0.094
	Future	1Year(p.a.)	13.120	13.130	13.116	13.145	12.988	-0.158
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.339	2.283	2.175	2.155	2.225	+0.070
	USD	1Year(p.a.)	2.452	2.439	2.347	2.331	2.381	+0.050
株式	Bovespa指数		57716	58610	58575	57901	58236	335
CDS	CDS Brazil 5y		259.33	257.61	258.63	259.60	260.72	+1.12
商品	CRB指数		186.111	184.434	182.823	180.207	178.209	-2.00

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

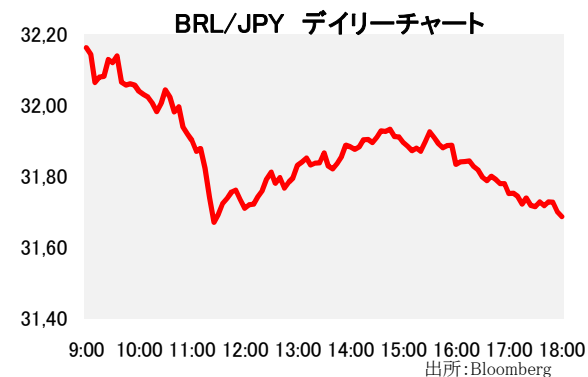
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.35%	0.32%	0.39%
PPI 製造業(前月比)	--	-0.20%	0.56%
PPI 製造業(前年比)	--	4.85%	5.77%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	45.7	46.0
CNI設備稼働率(季調済)	--	76.9%	77.2%
自動車販売台数	--	183901	181410
貿易収支(月次)	\$4200m	\$4140m	\$4578m
総輸出	\$17500m	\$16989m	\$16331m



## 3. 要人コメント

ユーラシア	ブラジルの議会は年内に歳出拡大制限案を可決するだろう
-------	----------------------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.2200で寄り付き後、直ぐさま本日の高値となる3.2190を付けた。その後、伯中銀によるドル買い介入が実施され、レアルはじりじりと反落、正午前には日中安値となる3.2620を付けた。午後に入るとレアルは3.2300から3.2600の間で小幅に推移し、結局3.2570でクローズした。
- 米原油在庫が約20年振りの高水準に積み上がったことが統計で明らかになったほか、ロシアのノバク・エネルギー相は現在の価格水準なら産油調整の必要はないと述べたことでWTI原油先物が大幅続落。原油相場はこのまま続けば、週間ベースで8カ月振りの大幅下落となる。
- ブラジル中銀は昨日、9会合連続で政策金利を14.25%に据え置くことを決めた。しかし声明文では10月にも利下げに転じる可能性があるとの見方を示唆し、先物金利は下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。